

修了式にみんなに伝えたいこと

みなさん、こんにちは。令和元年度も今日が最終日となりました。

学年末試験が終わって、まもなく、予想もできなかった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への数々の対応が始まりました。私たちも様々な危機への対応について、日ごろ、心のどこかで想定しながら暮らしていますが、これほど多くの行動制限や非常事態が矢継ぎ早に進んで行くとは想像もつきませんでした。

今回のCOVID-19への対応をめぐって、生徒の皆さんは先の見えない不安と、思うように屋外に出られない生活の中でストレスを抱えながら日々過ごしていたのではないのでしょうか？

これまで考えもしなかった在校生と保護者が参列できない卒業式、何か息ができないような閉塞感を感じました。本来であればたくさんの祝福と労いのなかで笑顔と涙が交錯する卒業式を迎えるはずなのに。在校生の皆さんとともに卒業生を送り出せなかったことが本当に心残りです。普段とおなじということ、「日常＝当たり前」ということがいかに素晴らしいことかを実感した日々でもありました。

明日からは春休みです。短い期間ではありますが、まずは少しチャンネルを切り換えて、心と身体を休めつつ、身体活動や生活リズムを少しずつ日常生活に軌道修正して行ってほしいと思います。

さて、いよいよ4月7日から、1年生の皆さんは中堅学年である2年生になります。4月に入学して来る後輩たちのサポートや夏休み以降には、様々なことを引き継ぎながら学校の中軸となって行ってほしいと願っています。おそらく入学してくる新1年生は、中学校生活に期待もあると思いますが、さまざまな不安を抱えていることも予想されます。中学生としての挨拶の仕方や言葉遣い、加えて部活動や毎日の学校生活の過ごし方など、後輩達の目線にたって教えてあげてほしいと願っています。

2年生の皆さんは最高学年の3年生に進級していきます。「1年後の今日、どのような進路に進んでいるのか？」ということのをイメージして、新学期からの時間の過ごし方を考え、心と身体の準備を少しずつ始めてください。

自分の進路は自分で切り開いていくことが大切です。学習成績だけが進路を決めるポイントになるわけではありません。自分がどんな大人になりたいのか、どんな仕事をしながら生きていくのかという、具体的な姿をイメージすること。自分が小さい頃からもっていた夢や希望を達成したいということ

を具体的に思い浮かべ、それを達成するために何をしたらよいか考え、実行に移すことが大切です。毎日の生活の中で何をなすべきか？4月、新学期が始まるまでに考えてください。

最後に皆さんに伝えたいことがあります。それは、ぜひ、自分のよいところを3つ見つけてほしいということです。もしうまく見つけることができれば、自分のよいところを友だちや家族・先生にPRしてみてください。

思春期を迎えた多くの青年たちは、自分のできなさや弱点、他人の欠点を見つけることは得意です。特に自分の欠点はよくわかりますね。多くの人はそのことによって、自分に自信をもてなかったり、他人との関係の中でギクシャクしてしまうことが多いのです。

皆さん一人一人には、誰も持ち合わせていないようなよさが絶対にあります。まだあなたはそのことに気づいていないと思います。

「私なんか、俺なんか・・・どうせ・・・」自分にはそんなよいところなんてないなどと勝手に思い込んではいけません。自分の中にあるよさや輝きをできるだけ早くみつけてください。もし見つけられない人は、自分の好きな人や家族、友人たちのよさを見つけることを通して、「自分にもこんなよい点がある」という視点をもったうえで、自分のよいところを探しをしてほしいと思います。

この後、もしも、辛い出来事に遭遇し、他者を信頼できなくなったり、意欲や希望を失うような経験をしたとしても、あなたの人生を絶対にあきらめないでください。どんなに時間がかかってもよいのです。最後まであきらめない人が必ず報われる。そう信じて、あきらめずに粘り強くあなたの歩みを続けてください。

4月から、新たな旅立ちとなりますが、学級のみならず、部活動のチームメイトみんなで声を掛けあって楽しく充実した中学校生活を送れるよう、励まし合ってゴールを目指して歩み続けてほしいと思います。皆さん一人一人がやり遂げて、「最後まで粘った頑張ったよ」という笑顔を中心に信じています。

先生方も4月からの学校生活に備え、様々な準備を行っています。新しい物語のスタートが待っています。あなたなりの準備を少しずつ始めてください。

旭川市立北門中学校

校長 村田 昌俊